

神奈川東部方面線だより

相鉄・JR直通線 — 西谷駅～羽沢横浜国大駅間
相鉄・東急直通線 — 羽沢横浜国大駅～日吉駅間

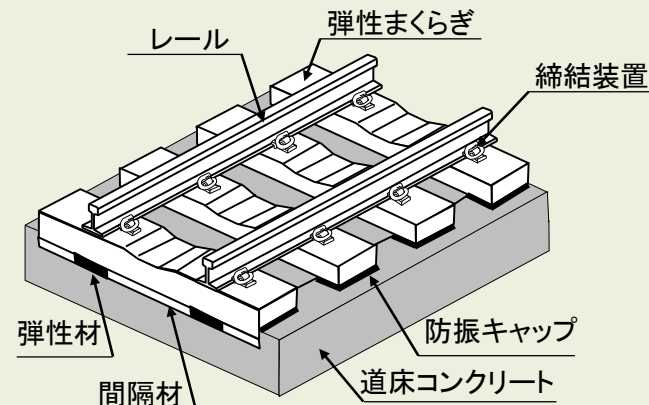
相鉄・東急直通線の軌道工事を開始

令和2年11月、羽沢トンネルで軌道工事を開始しました。相鉄・東急直通線の軌道構造は相鉄・JR直通線と同様に、弾性まくらぎをコンクリートで固定する「弾性まくらぎ直結軌道」です。

1本が25mのレールをトンネル内に運搬し、現地で溶接することで、新横浜駅(仮称)から日吉駅間の約4.6kmの区間はレールに継目がない構造(ロングレール化)となります。継目がないことにより、乗り心地の向上、車両走行による騒音・振動の低減が期待されます。



軌道工事



弾性まくらぎ直結軌道構造図

「神奈川東部方面線」は、相鉄本線西谷駅から羽沢横浜国大駅で、JR東海道貨物線へ乗り入れる「相鉄・JR直通線」と、羽沢横浜国大駅から新横浜駅を経由し、東急東横線・目黒線日吉駅で東急線へ接続する「相鉄・東急直通線」を整備し、相鉄線とJR線、東急線との相互直通運転を行うものです。相鉄・JR直通線は皆様のご支援を賜り、令和元年11月30日に開業することができました。相鉄・東急直通線は令和4年度下期の開業を目指し、全区間で工事が最盛期を迎えています。

本事業は、都市鉄道等利便増進法に基づいた速達性向上事業として進めており、横浜市西部及び神奈川県中部と東京都心部との広域的かつ多様なネットワークの形成により、時間短縮、新幹線へのアクセス向上等、利便性の向上が図られるとともに地域の活性化等に寄与します。



新横浜駅(仮称)の土木・設備・電気工事の進捗

新横浜駅(仮称)では、地上部への出入り口の工事、エスカレータの設置などの設備工事や電車に電気を送る変電設備等の電気設備の工事を行っております。



出入り口



エスカレータ



変電設備

新横浜トンネル、綱島トンネルの掘進完了

新横浜駅(仮称)と新綱島駅(仮称)をつなぐ新横浜トンネル、新綱島駅(仮称)と日吉駅をつなぐ綱島トンネルの掘進が完了いたしました。

新横浜トンネルは、平成30年12月に掘進を開始し、横浜市道環状2号線の地表面陥没等で沿線地域の皆様にご迷惑をお掛けしましたが、令和2年11月に新横浜駅(仮称)に到達しました。現在は設備・電気工事を行っております。綱島トンネルは、令和元年11月に掘進を開始し、令和3年4月に新綱島駅(仮称)に到達しました。

綱島トンネルの掘進完了により相鉄・東急直通線のシールドトンネルはすべて貫通しました。今後、設備・電気工事を予定しております。



新横浜トンネル 到達状況



綱島トンネル 坑内状況

● お問い合わせ先

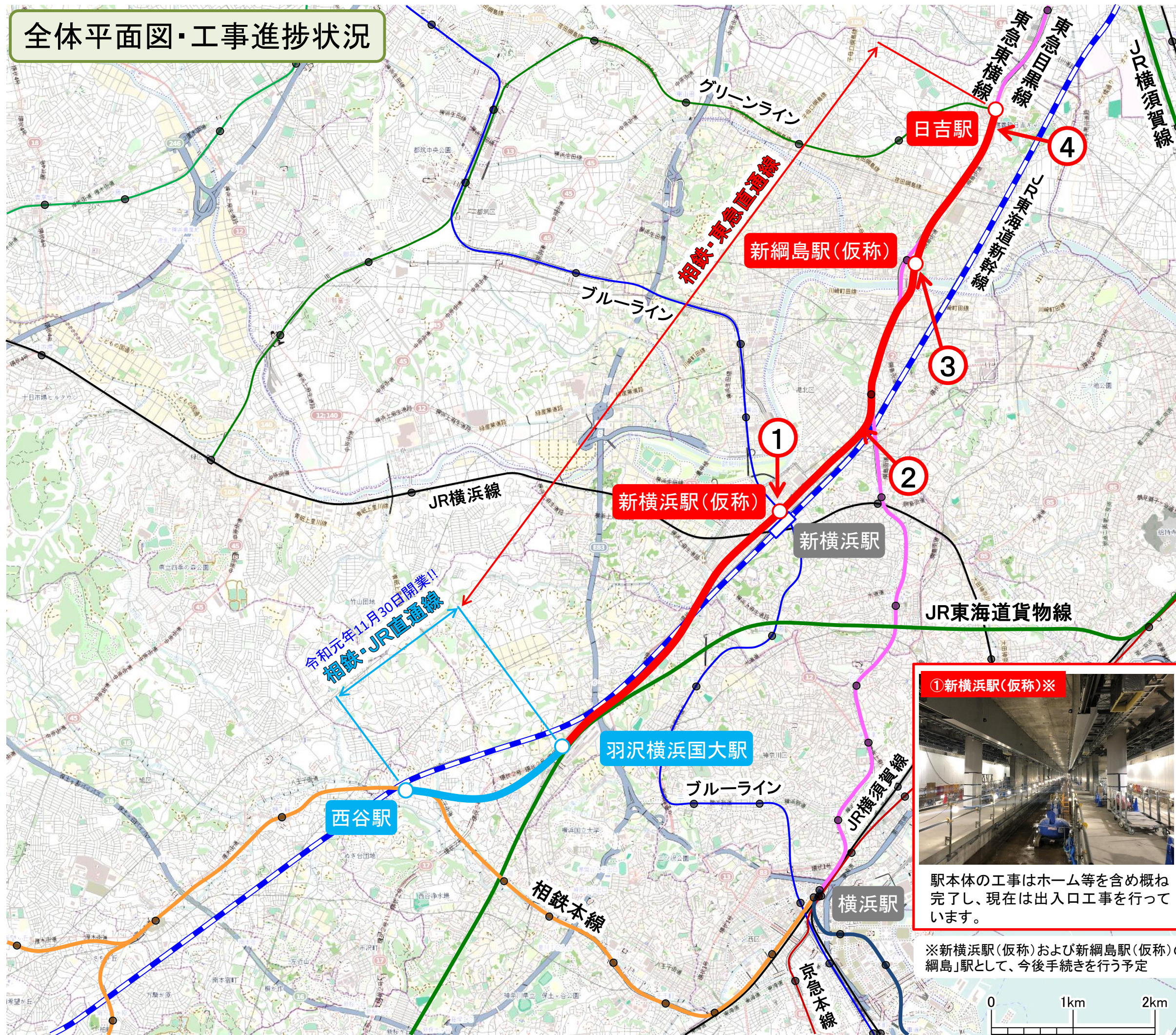
● 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 東京支社 総務課広報担当
〒105-0011
東京都港区芝公園2-4-1 (芝パークビル)
TEL 03-5403-8780
FAX 03-5403-8770
<http://www.jrtt.go.jp/>

● 相模鉄道株式会社 相鉄お客様センター
〒220-0004
横浜市西区北幸2-9-14
TEL 045-319-2111
FAX 045-319-2191
<http://www.sotetsu.co.jp/>

● 東急電鉄株式会社 東急お客さまセンター
〒150-8511
東京都渋谷区南平台町5-6
TEL 03-3477-0109
FAX 03-3477-6109
<http://www.tokyu.co.jp/railway/activity/network/>

事業の概要や工事の進捗状況など詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください
「都市鉄道利便増進事業
相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線」ホームページ
<http://www.chokutsususen.jp/>

全体平面図・工事進捗状況



相鉄・東急直通線

④日吉駅付近



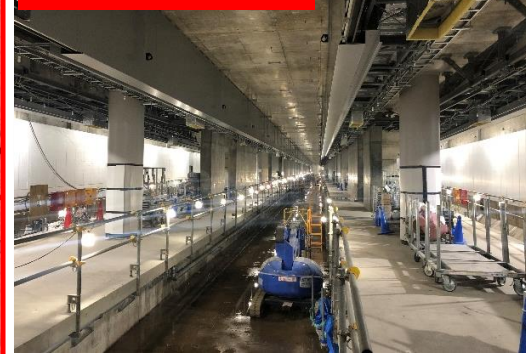
開削トンネルの構築を進めており、土木躯体完了したところから、軌道敷設を行っています。

③新綱島駅(仮称)※



ホーム及び駅躯体の構築作業を行っています。

①新横浜駅(仮称)※



駅本体の工事はホーム等を含め概ね完了し、現在は出入口工事を行っています。

②新横浜トンネル



令和2年11月末に新横浜駅に到達。トンネル坑内の電気工事や坑内の資材を撤去しています。

※新横浜駅(仮称)および新綱島駅(仮称)の名称については、それぞれ「新横浜」駅、「新綱島」駅として、今後手続きを行う予定